

2015年度男女共同参画推進国際シンポジウム

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の最終年度にあたり、芝浦工業大学 2015年度男女共同参画推進国際シンポジウムを開催しました。

標題 芝浦工業大学 2015年度男女共同参画推進国際シンポジウム「世界の舞台で活躍する女性研究者の育成強化に向けて」

日時 2015年12月5日（土）13:30～17:00

会場 豊洲キャンパス 交流棟6階大講義室

主催 芝浦工業大学

後援 内閣府男女共同参画局、IEEE JC WIE、電子情報通信学会、情報処理学会、日本データベース学会

プログラム

13:30 開会の辞：学校法人芝浦工業大学理事長 五十嵐 久也

13:35 来賓挨拶：参議院議員 猪口 邦子氏、内閣府男女共同参画局長 武川 恵子氏、文部科学省科学技術・学術政策局長 川上 伸昭氏

14:00 基調講演：You are the Internet of Women – Be Fearless! モニク モロー氏(CTO-Evangelist-NewFrontiers, Cisco Engineering Development,CTO-Architecture Team,CISCO Systems (Switzerland) GmbH)

15:00 休憩

15:30 芝浦工業大学 男女共同参画推進 成果報告

- 芝浦工業大学における男女共同参画：芝浦工業大学 学長 村上 雅人
- 「女性研究者研究活動支援事業」の成果報告：芝浦工業大学 男女共同参画推進室長 國井 秀子
- 事例紹介：「女性研究者研究支援事業」における支援の成果女性研究者としてのワークライフバランス確保へのサポートを得て：芝浦工業大学 工学部准教授 村上 嘉代子
- 事例紹介：研究支援により変化した働き方と意識について：芝浦工業大学 大学院工学マネジメント研究科准教授 平田 貞代
- 事例紹介：Fab Girl プロジェクトを基にした新たな研究テーマの創出 芝浦工業大学 工学部准教授 菅谷 みどり

16:45 コメント：モニク モロー氏 (CISCO Systems (Switzerland) GmbH)

17:00 閉会の辞：芝浦工業大学副学長 米田 隆志

目的

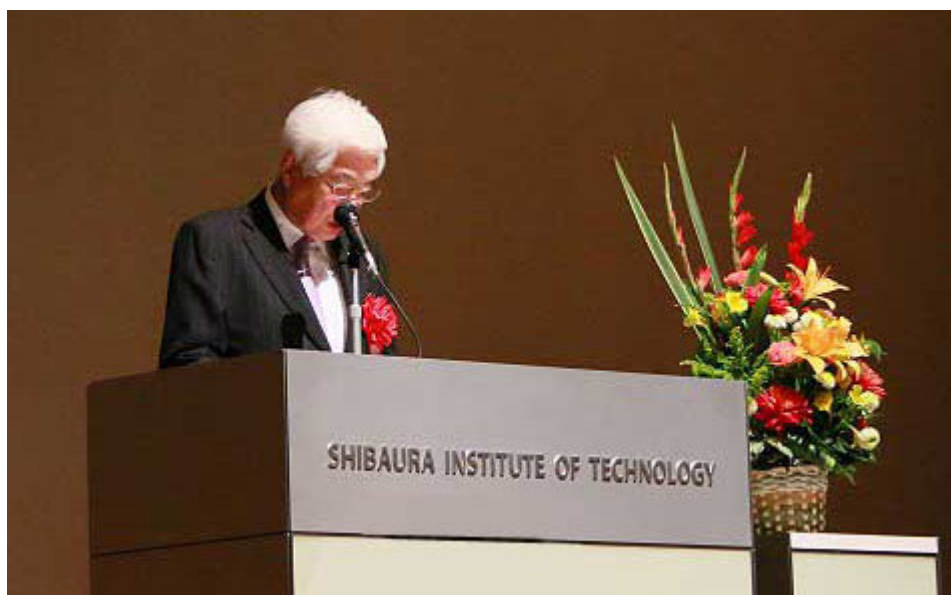
本学「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の成果を学内外に示し、その成果を、Monique Morrow, Cisco Systems CTOの基調講演による世界水準のメッセージと重ね合わせ、理工系スーパーグローバル大学としての、今後の男女共同参画推進、女性研究者・技術者の育成への取組方を明らかにする。

参加者内訳

登壇者と関係者17、教職員41、学生8、一般55 計121名（事前申込110名）

実施結果の概要

主催者開会挨拶では、五十嵐久也理事長が、来賓、基調講演者への謝意とシンポジウム開催の意義、そしてグローバル水準の大学として、男女共同参画を継続的に推進していく意を表された。来賓ご挨拶で、猪口邦子参議院議員は、女性の参画と活躍を進めなければならない理由を、社会の持続的発展とイノベーションを可能にする”4つのD”に求めて述べられた。



▲ 五十嵐久也理事長



▲ 猪口邦子元内閣府特命担当大臣（少子化・男女共同参画担当）

武川恵子内閣府男女共同参画局長は、科学技術における男女共同参画推進を重点分野の1つとしている男女共同参画行政の立場から、川上伸昭文部科学省科学技術・学術政策局長は、女性の参入活躍を理工学・科学技術の質の高度化に不可欠とする科学技術人材政策の立場から、シンポジウムへの期待を述べられた。



▲ 武川恵子内閣府男女共同参画局長



▲ 川上伸昭文部科学省科学技術・学術政策局長

モニク モローCTOの基調講演”You are the Internet of Women – Be Fearless!“では、まず、多様な立場・経験をもつメンバーで構成される組織こそ新しいものを生み出し得ることが具体例に即して説明された。次いで、しくみ・判断基準等組織の諸秩序が、たとえば日本人・健常・男性といった主流のカテゴリーを前提に成り立っていると、そこから外れる構成員は能力の開発発揮機会を逸しがちになり、それらの人々を活かせないことになる、組織として、そうした認識され難い次元のバイアスを検証し解消してく取組が求められる、と話された。そして、[SHE]Economyの提案を以て講演を締めくくられた。



▲ 基調講演 モニク モローCTO



▲ 國井秀子男女共同参画推進室長

「芝浦工業大学男女共同参画推進成果報告」として、はじめに村上雅人学長が「芝浦工業大学の男女共同参画」として、来賓挨拶、基調講演を受け、男女共同参画推進への大学の取組の流れの中に、女性研究者研究活動支援事業への取組を位置づけ、そして、理工系のスーパーグローバル大学として、男女共同参画推進のモデル校をめざす意気込みを述べられた。次いで、國井男女共同参画推進室長が、「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の成果を報告し、今後への発展的継承を展望した。2年間余で女性教員比率の数値目標を達し得た要因として、早期に組織職の認識共有がはかられたこと強調された。最後に、補助事業による研究支援員配置を受けている3名の女性准教授が、ライブイベントによって時間的に制約される研究活動の遂行と成果産生に研究支援員の配置をどのように活かしてきたかを、具体的分析的に事例報告された。成果報告全体に対し、モニク モローCTOより、コメントと「創立100周年2027年に女性教員比率25%にするという高い数値目標の達成を共に見届けたい」とエールを頂いた。

米田隆志副学長が「2年余で学内の雰囲気が変わった、補助事業後終了後も手を緩めずに進めていきたい」と締めくくられ会を閉じた。



▲ 村上嘉代子工学部准教授



▲ 平田貞代大学院マネジメント研究科准教授



▲ 菅谷みどり工学部准教授

参加者アンケートの結果概要

回収数 66 (回収率55.6%)。基調講演には95.4%、学長の包括的成果報告には92.3%、男女共同参画推進室長の女性研究者研究活動支援事業成果報告には98.1%、事例報告には98.0%の回答者が「たいへん参考になった」または「まあまあ参考になった」と肯定的に評価された。自由記述回答は、ほとんどが積極的意見であった。一部を以下に引用例示する。

◆シンポジウムの感想

<基調講演について>

- ・モニクモロー氏の自信の体験をベースに置いた女性の活躍、男女平等の経済、企業、社会のあり方に感動し勇気を頂いた。SHE経済の実現を大いに期待したい。(女性・50代・その他)
- ・基調講演について女性だけではなく企業で働く男性にも聴いて頂きたい内容だった。(女性・20代・企業)

<事例報告について>

- ・企業の研究者も研究スキル向上や成果を出すこととライフイベントとの両立が課題になっておりまた男性が多くなる職場であるためとても参考になった。(女性・30代・企業)
- ・女性はとても丁寧に何事もやり関係性なども大切にしていた根性があると改めて分かりました。将来は仕事などでチャンスのきた女性が身近にいたら応援して行こうと思います。(女性・20代・学生)
- ・女性の研究者や女性の理系学生が少ないという現状の理解ができ、ライフイベントを経た女性研究者の困難やそれについての対策法についても学ぶことができた。芝浦工業大学がこれまで行ってきた女性教員や女性学生のために試みについても改めて深く知ることができた。(男性・60代・教員)
- ・女性が働くこと仕事や家事等に支援を大きくすることは女性が活躍できることが改めて理解できました。特に現在は女性の活躍する機会が増えてきたもののまだ支援が足りていないと思うので支援に対する姿勢をもっと広めることで女性への支援が増えたらいいなと思いました。(男性・60代・教員)
- ・事例紹介の話は皆具体的で、とても参考になりました。このような話を広く伝える機会が沢山あると良いと思う。(女性・30代・企業)

<来賓挨拶について>

- ・猪口さんのお話がインパクトがあり、真に女性の育成を推進しようという気概を感じました。(女性・60代・その他)
- ・猪口議員のお話はとても興味が深く勉強になりました。キューリ夫人の話について刺激を受けました。事例紹介がためになりました。企業に勤めておりますので会社の女性社員へのモチベーション向上に役立てたいと思います。研究支援員の方のお話も聞いてみたいです。(女性・40代・企業)

<大学の取組について>

- ・この大学の積極的な取組が理解できて良かったしっかりしたサポートが大きな成果につながっていると思う。(女性・60代・その他)
- ・基調講演、貴学の取組ともに大変示唆に富んでおり参考になりました。具体的な数値目標を掲げそれを達成されたことはすばらしいと思います。(女性・30代・その他)
- ・全体的に質の高いものであった。他大学への参考になることを期待する。通訳レベルも高くとても良かった。(男性・50代・官庁他機関)
- ・大変有意義な内容で大変啓発を受けました。貴大学の取組の成果もすばらしいと思いました。ぜひ、テストケースフォーランナーとして今後も成果に期待したいと思います。(男性・40代・企業)
- ・固定観念を打ち壊すことが大切だと感じました(女性・20代・学生)

<その他の意見>

- ・自分自身も職場や学生のときに感じていたことを他の方も感じるということが紹介されていて大変共感できました。(女性・50代・その他)

◆芝浦工業大学男女共同参画推進室への要望、意見

<感想>

- ・次世代を担う若い方々の集う大学で着実にダイバシティを推進されていることは頼もしい限りです。(女性・60代・その他)
- ・ひとりひとりの女性研究者によりそう姿勢が大きな成果につながっている。(女性・50代・その他)
- ・芝浦工業大学様がこのような取組をされているとは思ってもよらずびっくりしました。自分自身も技術系で4学卒。時代は流れ大学での課題変化していること認識して企業人としてダイバシティ推進に取り組んで行きたいと思う。事務局のみなさま大変ありがとうございました。(女性・50代・企業)
- ・研究支援員制度は大変すばらしい制度だと思いました。(女性・50代・企業)
- ・興味深い事例紹介ありがとうございます。女性が活躍できる環境整備(保育環境)について進めて頂けると幸いです。(男性・30代・官庁他機関)
- ・事例紹介おもしろかったです。学生のスキルや意識の向上につながっており、とても良い取組と思っています。研究をすすめるには強い思いも必要でライフイベントの中で研究として何をしたいのかの思い、協力者を得ることはとても重要に感じます。一人の思い、行動だけでは難しく支援も大切ですね。(女性・40代・企業)
- ・制度への理解、働き方の多様性への理解は他人への理解を深めるだけではなく自分の人生観を変えていくことにもなると感じました。今後、女性だけでなく男性も含めて啓発やメンターのサポートなどがあると良いと思いました。(女性・20代・学生)
- ・認識をつくること特に女性を取り入れることが良いのではなく、女性を取り入れる等、ダイバシティに取り込む柔軟性が大事という点に共感しました。はじめは無理にでも取り込み、次のステップはバイアスをなくす、少しずつ変革していけばと思いました。(男性・20代・学生)

<提案>

- ・中高生女子対象の講座など行われているが、小学生対象が必要と感じました。(女性・50代・その他)
- ・まだまだ、少ない工学系の女性研究者の数と質が貴学の取組により向上することを期待しています。モデルの普及も是非ともお願いします。(女性・30代・その他)
- ・取組内容について企業へも積極的にアピールし企業とコラボレーションしながら取り組んでほしい。(女性・20代・企業)
- ・非常に画期的ですばらしい女性研究者支援のしかたのシステムだと思います。多くの企業や大学でも実施されるようこれからも外部への発信を続けて頂きたいです。(女性・20代・企業)
- ・事例紹介は一般企業等にも参考になることが多いです。ホームページ等でぜひオープンにして頂きたいと思います。(男性・50代・企業)
- ・これからも継続的な成果達成を期待しております。是非2027年度の目標値を達成して下さい。(男性・30代・企業)

<意見>

- ・実績のご紹介で女性に対する支援につきましてはお話があったのですが、男性に対しても何らかのアクションをされたのでしょうか？特に、介護中の女性支援という表現に違和感を覚えました。女性だけではなく男性にとっても影響が大きい事例かと思います。暗黙的なジェンダー役割意識を払拭することが必要ではないでしょうか？(女性・40代・企業)

総括

総体として充実したシンポジウムとなり、開催目的を果たすことができた。

お問い合わせ先

**芝浦工業大学
男女共同参画
推進室**

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307 (大宮キャンパス)

E-mail:desk-gequality@ow.shibaura-it.ac.jp